

都道府県名：鹿児島県

【経営の概要】

鹿児島県枕崎市大塚地区は、輪ギクの施設花き専門経営が行われており、栽培農家数41戸、施設面積32ha、生産額19億円を誇る鹿児島県内最大の産地で、市町村単位で全国第4位の産地である。農家経営は、白輪ギくを主体に、6～10月に夏ギク「フローラル優香」、11～5月に秋ギク「神馬」を作付けし、年3作体系により周年継続出荷を行っている。

【対策の内容】

秋ギクの主力品種「神馬」は、花芽分化温度が高く、暖房のための重油代を多く要する欠点があった。そこで、低温開花性及び半無側枝性の特性を有する県農業開発総合センターで育成された「新神2」の導入と変温管理技術の普及により、暖房コストの低減を図った。

表1. 出荷時期別栽培品種の変化

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
栽培品種	神馬→新神2					フローラル優香			神馬→新神2			

表2. 変温管理技術の概要

品種・系統	温度管理	定植～消灯	消灯～発蕾	発蕾～膜切	膜切～収穫	栽培期間(定植～収穫)
神馬	定温管理	15	18	13	15	109日
	変温管理	15	18-14	13	15	109日
新神2	定温管理	8	17	13	16	107日
	変温管理	8	17-14	13	16	107日

注1) 表中の温度は最低夜温(実温, 単位℃)

注2) 変温管理は17時～0時を前夜半, 0時～8時を後夜半とした。

【対策の実践効果】

表3. 神馬と新神2の比較(3月出し) ※A重油単価95円/L(3月)

	取組前(A)	取組後(B)	B/A
燃料の種類と使用量	A重油: 9,200L/10a	A重油: 5,530L/10a	60%
加温に係る燃料経費①	874,000円/10a	525,350円/10a	—
対策に係る追加費用②	—	0円/10a	—
①+②	874,000円/10a	525,350円/10a	60%

表4. 定温管理と変温管理の比較(新神2, 3月出し)

	取組前(A)	取組後(B)	B/A
燃料の種類と使用量	A重油: 5,530L/10a	A重油: 4,720L/10a	85%
加温に係る燃料経費①	525,350円/10a	448,400円/10a	—
対策に係る追加費用②	—	0円/10a	—
①+②	525,350円/10a	448,400円/10a	85%

【今後の課題】

- ・県農業開発総合センターと連携した低温開花性品種の育成強化
- ・コスト低減技術の開発
- ・農家の経営指導の強化

【問い合わせ先】

鹿児島県南薩地域振興局農林水産部農政普及課

電話: 0993-53-3141

